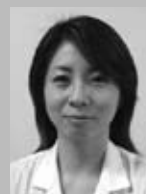


コメディカル(co-medical)とは、医師とともに力をあわせて医療を行う医療技術者の総称です。



ご存知
ですか？

視能訓練士



視能訓練士
青木 知子

視能訓練士をご存知ですか？

視能訓練士(Orthoptist)は、「視能訓練士法」という法律に基づく国家資格をもった医療技術者です。私たちのほとんどは、眼科で医師の指示のもとに視機能検査を行うと共に、斜視や弱視の訓練治療にもたずさわっています。

視能訓練士の仕事

人間の一生にかかわる「目」の健康管理。私たち視能訓練士は、眼科領域における専門技術者として、乳幼児からお年寄りまで世代を超えて、皆様の大切な目を守るお手伝いをしています。

主な業務内容

- ①眼科診療に係わる視機能検査
- ②斜視、弱視などの訓練指導
- ③集団検診視機能スクリーニング
- ④リハビリ指導(ロービジョンケア)などがあります。

今回は①眼科診療に係わる視機能検査についてご紹介します。

視機能検査とは？

視機能検査とは、視力、視野、眼圧、眼球運動などの検査の他に、超音波、眼底の写真撮影などがあります。これらの検査によって得た正確な検査結果が、診断治療の重要な情報となります。

●視野検査



ハンフリー視野計

おもに緑内障、視神経疾患、網膜疾患など視野異常が疑われる場合に用います。とくに、中心部の視野異常を詳しく知りたい場合に優れている検査です。



ゴールドマン視野計

おもに緑内障(後期)、頭蓋内疾患、網膜疾患(網膜色素変性など)が疑われる場合に用います。周辺部を含めた視野全体の形状を評価するのに優れている検査です。

●眼底の写真撮影



眼底カメラ

眼底カメラは網膜や視神経の状態を撮影するものです。撮影することによって客観的に状態を捉えることができ、また画像として保存することができるのが大きな利点です。



光干渉断層計(OCT)

黄斑円孔や黄斑上膜、加齢黄斑変性などのさまざまな眼底疾患に対し、眼底組織の断面の状態を詳しく調べます。また、緑内障における視神経乳頭周囲の評価にも使用します。